

令和5年度 園評価・自己評価結果公表シート
標記の事について、次のとおり報告します。

若桜町立 わかさこども園
園長 小 林 宏 美

1. 令和5年度教育・保育目標について

令和5年度は次の教育・保育目標、重点目標を掲げ子ども自らが目の前の遊びに取り組み
試行錯誤しながら出来た経験を重ね、自分でできる、できたという自信を持たせることで、
さらに様々な事に意欲的に取り組み、いきいきとした園生活を過ごすことができる子どもに
つながるように一年を通して取り組んできた。

◎令和5年度 教育・保育目標

○【いきいきと かがやく わかさっこ】

◎令和5年度 保育の重点目標

○遊びたくなる環境や保育の展開

○自らの気づきを学びにつなげる研修

○地域に開かれた園づくり

2. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 学級経営 (研究・研修)について	*ねらいを達成するために、子どもの実態、興味や関心を捉えて各年齢 の計画立案に反映した。 ・一人ひとりの子どものありのままを受け入れ、安心した環境や信頼関係の中で生活できるように心がけている。 ・保育・教育の質の向上に向けた保育研修は、今年度対面開催も増え、他の保育士との情報交換などを行い、良い機会となった。 ・外部研修指導や県の要請訪問指導など年間を通して実施でき、園内研修の充実を図ることができた。 ・昨年度に引き続き、園内の公開保育を行い、指導案に基づいた他のクラスの保育を見合うことで自分の保育の振り返りや学びにつながった。また、園児全体の育ちの確認へつながった。 ・感染対策、安全管理対応として、玄関での受け渡しを行っているが、園内での様子は日々の連絡帳や担任が直接玄関で対面にて伝えている。 ・保護者の日頃の悩みに適宜応じている。また、個人懇談、希望懇談を実施するとともに、クラス懇談会は年度初めに開催し、保護者の思いを直接聞くことが出来た。今年度は、保護者同士がつながれる交流会、学習会を実施できた。 ・基本的な生活習慣については、個々の状況に合わせて家庭と連携をと

② 保護者支援の推進	ることを心がけた。また、家庭の実態把握として学園と共同の取り組み「ハッピーすこやか週間」を年間計画に位置づけ、連絡会などで情報共有や相談体制を行った。 ・食育活動では、菜園で収穫したものを利用したクッキング活動を感染対策を講じながら実施できた。 ・戸外遊びは、子ども達が繰り返して遊び込めるような時間を確保し、取り組むことが出来た。 ＊特別支援 ・特別に支援のいる子どもに対しては、支援会議を設け、園児の状態を全職員で共有した。クラスの中で気になる子どもに対しても、園内職員会等で職員間の共通理解を行い支援方法を検討した。また、保護者理解のもと、専門機関や、関係機関、医療機関と連携を図り、支援方法の課題解決に向けて関わる事ができた。 ＊家庭との連携 ・今年度も引き続き、マチコミメールやタイムラインを活用している。園内での子どもの様子や園行事以外にも、感染症の状況も早期にお知らせをしたことで、家庭からの感染症予防の協力につながった。 ・年間行事予定をお知らせすることで、参観日、講演会、交流会、保護者会行事への参加率が高かった。 ・新型コロナウイルス感染症も5類に移行され、町内のイベント参加も増え、開催時期が集中したことで、子どもや保護者負担が増えた。来年度は、参加内容を検討したい。 ・毎年開催している保護者講演会は、重点目標にもあげている、「人とのつながりをひろげよう」のテーマに沿った学習会に変更して取り組むことが出来た。 ・クラス懇談会で子ども達の育ちや発達を理解していただく場を設定した。園と家庭が共通理解の大切さを確認できた。 ・子ども一人ひとりの園での姿や変化を保育者が敏感に受け止め、その原因はどこからくるのか、家庭の背景等も探りながら、保護者に様子を伝えていった。 ・子育てに大切なことは何か、園での気付きを保護者に伝え共に考え、解決に向かい、保護者に寄り添っていく姿勢を持つことが不十分であったと感じる職員もあった。 ＊地域の子育て支援 ・子育て世代の方が誰でも利用できる施設環境は整っているが、現在は、支援センター利用が中心となっている。 ・該当者の未就園児の年齢も乳児が多く低年齢児に合った事業計画に沿って実施できた。 今後も地域の子育ての拠点施設として利用しやすい施設にしていきたい
-------------------	--

③ 施設・整備・運営 (保健・安全)について	い。 *健康・安全体制 ・安全管理マニュアル(安全計画)を基本に運営するとともに各自で点検する安全チェックシートを利用し、自己確認していく必要があると感じた。今年度も続いた様々な感染症の対策は、感染状況に応じて変わっていく対処法を職員で確認し、家庭の協力を得ながら感染防止に努めた。また、感染状況については、保護者への文書、玄関掲示、マチコミメール配信等で対応した。 *運営・管理・社会的責任 ・子どもの最善の利益を保障する保育実践を積み重ねていくことを基本とし、一人ひとりに寄り添う対応をした。 ・園内外の遊具、施設等の安全点検を日々行い、安心できる環境、運営管理に努める事ができた。
-----------------------------------	---

3. 今後に向けて

・今年度の評価・反省・課題等を職員間で共有し、新年度に向けて、計画的に進めていく。また、地域に開かれたこども園として、来年度も引き続き、地域の方との交流が深まるような取り組みをしていく。目指す子どもの姿となる保育・教育を充実させていくため園内研修の検討や保育・教育の質の向上に努めていきたい。また、職員一人ひとりのモチベーションが維持できるように自己評価シートの取り組み指標や成果指標の達成数値を検討していく。保育者一人ひとりが専門性を高め、園全体の保育・教育の質の向上に今後も努めていきたいと考えている。

4. こども園関係者評価委員の評価

評価項目	評価
教育・保育内容全般について ・教育・保育目標や目指すこども像に近づく取り組みがなされているか	・たくさんの目標があり、大変だと思いますが、具体的に事業を取り組み、その結果、人とのつながりの中で成長につながっていると思う。 ・今年は色々な面で取り組みも積極的だったと思う。 ・職員の努力の成果と課題が良く分かる自己評価シートが良いと思う。 ・子どもの実態をよく見られて、考えられていると思う。 評価委員会で課題にものぼりましたが、評価の指標については、もう少し考えられてもよいかと思う。 ・十分に達成されていると思う。 ・町で開催される事業に積極的に参加し、園児にとっても地域の皆さんに見守られているという体験が出来た一年になったように思う。

子どもについて ・元気でのびのびとした姿で過ごしているか ・情緒も安定し、表情豊かに過ごしているか	・コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な事業が実施出来たことにより、元気でのびのびとした園児の姿が見えた。教職員の皆さんは大変かもしれませんが、園児に様々な体験をさせてやってほしい。 ・こども園だより（地域版）で毎日たくさんの行事を行っている楽しそうな姿を見えています。アンケート結果を見ても楽しく過ごしていることがみてとれた。 ・11月の参観日でも子ども達の元気でのびのびとした姿がたくさん見られた。 ・園生活の写真を見ると、とても楽しそうにしている。 ・運動会や発表会でののびのびとした姿を見て、大変うれしかった。 ・様々な家庭環境のお子さんがおられ、すべての子の背景が元気につながるものではないかもしれないが、ただ、園として家庭への呼びかけはしっかりされていると思う。
教職員について ・子どもに愛情と誠意をもって接しているか ・子ども一人ひとりの良さを引き出そうとしているか。	・色々な子ども達に対し、先生同士で相談しながら対応を考え、早期支援につながるようにされていると思います。子どもの言葉をしっかり引き出させておられた。 ・町の各種行事への参加が増え、教職員の人数も限られている事から、教職員一人ひとりの負担が増えているように感じる。その結果が子どもへの対応に影響がないようお願いしたい。教職員のサポートをしてもらえる職員の配置も検討してはどうかと思う。 ・色々な行事に参加させていただく中で、子どもに寄り添った姿が見られ、良いと思う。 ・職員間でなんでも相談できる雰囲気は何よりだと思う。多忙な毎日だともおもいますが、メンタルヘルスに気を付ける必要があると思う。 ・行きしぶりの子に対して、いろいろと工夫して接していただいている為、感謝している。 ・一人ひとり個性があり、また、親の考えや家庭環境も異なる中で、個に応じた対応はとても大変だと思う。
地域・保護者との連携について ・地域や保護者から親しみやすい園だと感じられているか。 ・地域や保護者と連携がとれているかどうか。	・地域行事にもたくさん参加され、園児の姿を地域の方にも見て頂いているように感じている。 ・発表会にあれだけ多くの保護者、親戚の方が来られている事に驚いた。子どもは、みんなの宝物だと感じている。 ・「子どもをこのこども園に通わせてよかった」「子どもの事について何でも気軽に相談に応じている」の肯定的評価が高いことは、誇れることだと思う。

	・地域との交流やイベント参加がアンケートでも高く評価されており、良いと思う。 ・保護者への連絡にメールを活用していくことはいい事だと思うが、直接、保護者と話す（言葉で伝える）ことも継続してほしい。 ・担任の先生はわかるが、他の先生の名前が分からない。春だけでも、名札を付けてほしい。
安全管理について ・園の安全計画に沿って、安心、安全に子ども達が過ごせているか。 ・家庭との連携を図っているか。	・マチコミメールの配信で保護者との連携が図られており、今後より一層、内容が充実されると良いと思う。 ・訓練も年間計画されており、子どもに少しずつでも理解が深まればと思う。 ・感染症予防対策、マチコミメールの活用など、保護者の安心につながったと思う。 ・十分に気を付けていても、不慮の事故は起こると思う。よろしくお願いしたい。 ・安全に配慮された対応をされたと思う。災害時なども想定した訓練などもしっかりできていると思う。 ・防犯上、門の施錠は必要ではないかと思う。
★その他の御意見 ・保護者アンケートを見ると満足、信頼の言葉が多く、概ね達成されているに同意されている。コロナ禍より引き続き、感染症の流行があり、難しい判断もあった中連携の取れた運営を成されたと考える。自己評価に関し、見直されやりがいの生まれるものになるよう期待する。 ・委員用評価シートは評価委員が責任をもって評価するという観点から評価者氏名を記載すればいいと思う。	